

研究活動報告

日本人口学会2010年度・第1回東日本地域部会

日本人口学会2010年度第1回東日本地域部会は、2010年9月3日(金)、札幌市立大学サテライトキャンパス(北海道札幌市)にて開催された。報告タイトルと発表者は下記の通りである。

1. 「都道府県別合計特殊出生率の算出手法に関する一考察」……………石井憲雄(東北大学大学院)
2. 「飛騨白川村における複合の家『大家族(制)』終焉期における人口移動」
……………飯坂正弘(農研機構 中央農研)
3. 「近年の日本における外国人の出生」……………山内昌和(国立社会保障・人口問題研究所)
4. 「地域メッシュ統計の区画変化に伴う時系列比較可能性に関する検討
—日本測地系・世界測地系間およびメッシュ階層間の比較を中心として—」
……………小池司朗(国立社会保障・人口問題研究所)
5. 「人口減少が地域社会に与える影響：札幌市の生産年齢人口と社会指標」
……………原俊彦(札幌市立大学)

幅広い分野にわたる報告が行われたが、あえて全体をキーワードでまとめるとすれば、「地域人口」と「時系列分析」であろう。諸事情により地域人口データの取り方は時点によって異なり、その点が分析にあたっては支障となることが多いが、今回の報告では様々な形でデータの問題を克服する試みがみられ、いずれも興味深い内容であった。(小池司朗記)

日本地理学会2010年秋季学術大会

日本地理学会2010年秋季学術大会が2010年10月2~4日(4日は巡検のみ)に名古屋大学(愛知県名古屋市)で開催された。一般発表99件、ポスター発表26件のほか、10のシンポジウムで77件の発表があった。人口関連分野の報告も多数行われ、シンポジウム「変容する生業社会の人口とライフコース」では、フィールド調査に基づいた小規模人口集団に関する人口研究の成果が多数報告された。以下、主なものについて発表題目を紹介する。

- 「沖縄県の夫婦出生力における家族形成規範と理想子ども数の影響
—沖縄県南部の都市的地域と農村的地域の調査をもとに」
……………山内昌和(社人研)・江崎雄治(専修大)・西岡八郎・小池司朗・菅桂太(社人研)
- 「新潟県における二次医療圏別標準化死亡比の地域差」
……………北島晴美(信州大)・太田節子(信州医療福祉専門学校)
- 「エチオピア焼畑社会の出生力変化とその要因」……………佐藤廉也(九州大)
- 「ソロモン諸島の農耕社会における高出生力とその変化」……………中澤港(群馬大)
- 「半島マレーシアの狩猟採集社会における定住の強化に伴う人口と女性のフォーレージングの変化」
……………口蔵幸雄(岐阜大)